

「てんかん」でお悩みになっていませんか？

「てんかん」についてアドバイスをいただきました。

「抗てんかん薬治療」について

- てんかんは、100〜200人に1人のよくある病気です。そして、その症状の特殊性から、多くの誤解がある病気でもあります。
- 前回の「診断」編に続いて、今回は、治療に使う「抗てんかん薬」について、少しお話をさせていただきます。
- 抗てんかん薬は、普段我々が使用する風邪薬や頭痛薬とは異なった使い方をする薬剤で、いくつかの特徴があります。
- ① てんかん発作に対する対症治療**
病気の治療は、原因治療と対症治療に分けられますが、抗てんかん薬は、てんかん発作に対する対症治療薬です。標的にする発作型が確認されていませんと、闇雲に薬剤選択をしていることになりません。
 - ② 未来の発作に対する予防治療**
通常の対症治療では、解熱したり頭痛が治まったら、服薬を止めてしまいますが、抗てんかん薬の場合は、明日出るはずだった発作を来週に、来週出る予定だった発作を来月に「先送り」する予防薬ですので、発作症状がないときに黙々と飲み続けなければなりません。
 - ③ 血中濃度を安定させて効かせる**
毎日欠かさず服薬して、薬剤の血中濃度を安定させて、効かせるお薬ですので、のんですぐに効くわけではありません。通常1〜2週間、薬剤によつては約1ヶ月が経過して効果を発揮するものもあります。ですから「副作用は服薬直後から、効き目は忘れかけた頃から」という言葉があるくらいです。
 - ④ 年単位の長期投与**
通常服薬は、10年間以上になります。病状によっては生涯にわたる服薬が必要となる場合もあります。そのため「薬剤選択は効き目の強い順よりも、副作用の少ない順に」という考え方もあります。
 - ⑤ 3分の2は発作が止まる時代に**
3分の2の患者さんは発作が止まるようになったと言われますが、今後新規抗てんかん薬の使用が増えれば、この数字も更なる改善が期待できます。
 - ⑥ 基本は単剤治療**
抗てんかん薬は、相互作用が顕著な薬剤です。併用すると足を引っ張り合ったり、組み合わせによっては「発作誘発剤」に豹変する場合もあります。「抗てんかん薬の処方調整は、
- 探偵が犯人の可能性もある推理小説を読み解くようなもの」とも言われます。
- ⑦ 個人差が大きい**
「てんかんの種類は患者さんの数だけある」と言われるように、非常に個人差がありますので、オーダーメイド（オーダーメイド）の処方調整が必要になります。
- 以上のような特徴のため、「お作法」をわきまえた治療を受けませんと結果が出ません。担当医とじっくり時間をかけて話し合われ、「納得」のいく治療を求められるべきでしょう。



なかむらクリニック院長
ナカムラ ヒトシ
中村 仁 先生
昭和60年3月岐阜大学大学院医学研究科修了
昭和55年5月岐阜大学病院小児科脳波外来担当
昭和62年4月〜平成3年3月国立てんかんセンター勤務
国立療養所長良病院てんかん専門外来担当を経て
平成20年5月12日てんかん診療専門「なかむらクリニック」開院
(てんかん診療歴30年)

てんかんQ&A

Q 毎日の服薬でてんかん発作は治まっているのですが、血液検査の度に肝障害を指摘されています。このまま服薬を続けていて良いのでしょうか？

A 医師によって意見の分かれるところですが、私は「てんかん発作は肝障害に限らず副作用を辛抱して止めるものではない」と考えています。ここ数年日本でも、新規抗てんかん薬が世界水準並みに使えるようになってきています。肝臓を犠牲にしない処方では可能と考えられますので、一度担当医に相談してみてください。薬剤性肝炎でも肝硬変まで進行していなければ回復が期待できますので。

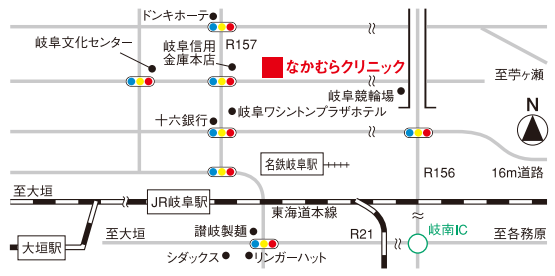
なかむらクリニック院長／中村 仁

てんかんは個人差の大きい病気です。
患者様、お一人お一人にじっくりと時間をかけて、診断・治療しております。一度ご相談下さい。

	月	火	水	木	金	土	日
午前 9:00~12:00	○	○	○	/	○	○	/
午後 2:00~ 5:00	○	○	○	/	○	○	/

【休診日】木曜・日曜・祝日 ※土曜日午後も診療しておりますので、学校やお仕事を休まずに受診可能です。

●保険診療 ●デジタル脳波計完備
・お子様からお年寄りまでご利用いただけます。・紹介状は、必ずしも必要ではありません。



小児科・脳神経内科 **てんかん診療専門** **てんかん診療のお作法**

なかむらクリニック

TEL.058-264-0860 完全予約制 〒500-8167 岐阜市東金宝町1丁目5番地 サンアド・テシガワラビル3F P有り(4台)

名鉄岐阜駅より徒歩7分